

Pick Up

現地調査

経済建設常任委員会を中心に被害状況を確認

豪雨による市内の被害状況をいち早く把握するため、7月9日に経済建設常任委員会の所管事務調査※として、農政課より水稻・大豆・ソバ・バレイショ・秋小麦の農作物被害状況（概算による7月9日現在速報）の報告を下記のとおり受けました。

（単位：a）

地区	被害面積計	冠水	浸水	流出(埋没)	倒伏
一已	1,327	1,186		131	10
音江	7,131	5,975	944	212	
深川	707	707			
納内	4,247	2,419	90	99	1,639
多度志	43,533	43,533			
合計	56,945	53,820	1,034	442	1,649

また、委員外議員を含む14人の議員により、特に被害の大きかった市道若林木村の沢線の路肩崩壊（多度志）、屈狩志内川の河岸決壊（多度志）、農地への土砂流入（納内）、農地法面の崩壊（音江2カ所）、吉住川の河岸決壊（音江）について、担当所管である農政課及び都市建設課より説明を受け、現地にて被害状況を確認しました。



Pick Up

補正予算

災害復旧、仮応急工事、調査設計費等を補正

全会一致

7月30日開会の第4回臨時会、9月4日開会の第3回定例会において、それぞれ豪雨災害に伴う復旧関係経費などが計上された一般会計補正予算（H30）を可決しました。（※災害関連予算を掲載）

第4回臨時会（補正5号）



合計 8,080万円

農地の被害を復旧するための調査設計費用200万円、市道38路線及び18河川の災害復旧費用6,930万円、市道1路線及び5河川の仮応急工事費用900万円、鷹泊バス待合所の地下給水ポンプ等の修繕及び移設費用50万円など

第4回臨時会  
録画中継



第3回定例会（補正7号）



合計 3億6,370万円

【農業災害対応】5,200万円～被災農地及び農用施設65カ所、農地災害復旧工事6カ所、【土木災害対応】3億1,170万円～河川災害31河川46カ所、道路災害12路線15カ所、【災害対応合所計】132カ所

第3回定例会  
録画中継



7月豪雨による被害総額  
約4億9,000万円（市長行政報告）

議会災害対策要綱に基づく  
議会災害対策会議を設置

7月2日から5日にかけての記録的な豪雨により、市が3日午前9時に災害対策本部を設置したことを受け、議会も同対策本部との連携を強化するため、速やかに深川市議会災害対策会議を設置しました。

■議会と災害

深川市議会においては、平成28年8月に発生した台風被害まで、議員個人や議会としての災害時等の危機管理マニュアルは存在していませんでした。

しかし、その台風災害を契機に、議員及び議会としての組織的な対応の必要性をそれぞれの議員が見つめなおし、議会改革の一環として、議会改革特別委員会が中心となり「深川市議会災害対策要綱」と「深川市議会議員災害時行動マニュアル」を制定しました（同年12月制定）。

この要綱の第1条には、「災害時に議員一人一人が迅速かつ適切な行動をとり、議会の基本的な機能を維持するために必要な事項を定めることにより、市の災害対策を側面支援するとともに、市民の安全確保及び早期の復旧に寄与する」と目的を示し、マニュアルでは、災害時における議員として組織的に行動するためのルールを定めています。

今回の記録的な豪雨では、要綱制定後初の対応となりましたが、大きな問題もなくおおむね要綱及びマニュアルどおりの対応をとることができました。